

営繕とらほく

EIZEN TOHOKU

発行
東北地方整備局営繕部
盛岡営繕事務所



福島市新庁舎完成イメージ

CONTENTS

福島市役所 新庁舎建設 「市民、街なか、広域に開かれた市役所づくり」	2~4
完成施設紹介(秋田地方法務局大曲支局)	5
保全ニュースとらほく	6
平成22年度 官庁施設保全連絡会議を東北各県で開催	
平成22年度 営繕優良工事表彰	7
第12回公共建築賞東北地区優秀賞決まる	8~10
公共建築セミナー開催しました!!	11~12

福島市役所 新庁舎建設

「市民、街なか、広域に開かれた 市役所づくり」

現在の庁舎は、昭和 27 年に建設以来 57 年が経過して老朽化が著しく、また、狭あい化、窓口の分散化など、これらの課題を解消し、さらに、防災の拠点づくりや環境との共生、周辺地域のまちづくりにも寄与できる庁舎を目指し、平成 20 年 11 月、新庁舎建設工事に着手しました。

敷地は現在の庁舎敷地と東側拡張敷地を合わせた約 2 万 m²。建物はできるだけ高さを抑え、現庁舎敷地には議会部門や市民利用施設の西棟（5 階建て）、拡張敷地には窓口部門や行政執行部門などの東棟（10 階建て）を配置する分棟方式とし、それぞれに建物、駐車場、広場を配置します。また、2 階と 4 階部分には連絡通路を設置し、両棟間を行き来する安全な動線を確保します。

現在建設中の東棟は平成 22 年 10 月末に完成、その後現庁舎の解体、西棟建設に着手し、平成 24 年度に西棟が完成する予定です。



所在地	福島県福島市五老内町地内
敷地面積	東棟：約 9,400 m ² 西棟：9,700 m ²
構造	東棟：鉄筋コンクリート造 （一部鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造） 免震構造 西棟：鉄筋コンクリート造 耐震構造

1 安全・安心のよりどころとなる防災拠点づくり

庁舎は、市民の生命と財産を守るための中核的防災拠点としての役割を果たすものであり、非常時においてこそ機能が発揮されるべきであることから、防災の拠点として整備します。

（1）耐震性を備えた庁舎 — 震度 7 相当にも耐えられる建物構造 —

- ① 東棟は、災害対策本部の施設としての迅速な指揮・情報伝達等のための、十分な機能確保が可能な免震構造です。
- ② 西棟は、中層建築物であることから、地震時の建物の安全性、機能性を確保できる耐震構造です。

(2) 防災機能の確保

- ① 災害発生時の避難場所としても対応できる、多目的ホール・市民開放会議室・市民広場を設けます。
- ② 非常用自家発電設備を設置し、災害発生時などの停電時に緊急措置として、3日間建物に電力を供給することができます。
- ③ 西棟敷地内に100m³の耐震貯水槽を設置し、災害時の飲料水等に使用が可能です。

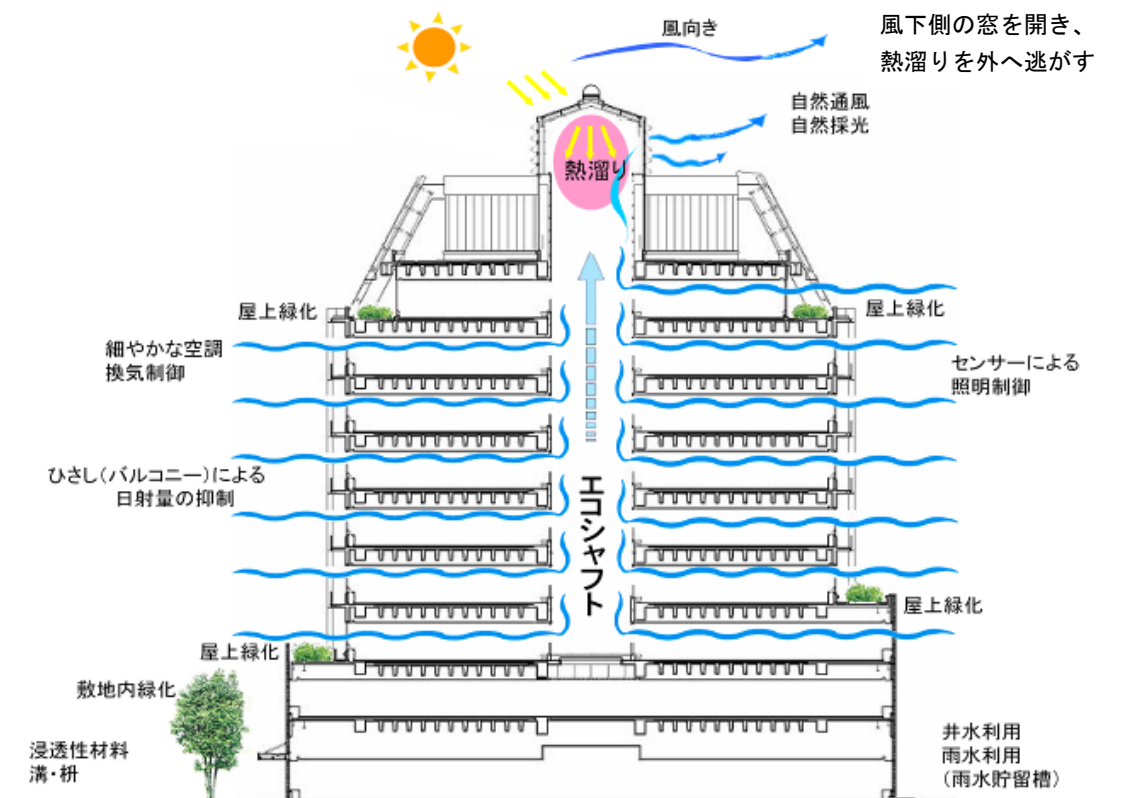
2 環境共生への取り組み

地球温暖化防止のため、エコシャフトによる環境負荷の低減や雨水・井水など自然エネルギーの活用をはじめ、省エネルギー・省資源に配慮した構造・設備の導入により、環境にやさしく、維持管理しやすい庁舎です。

また、駐車場緑化、屋上緑化のほか、駐車場を透水性舗装とすることで雨水を地中に還元するなど、環境に配慮しています。

※ エコシャフトとは、自然換気や採光により環境負荷の低減を図る建築設備です。

建物内に設けた吹き抜け空間の煙突効果を活用し、自然換気力を増すことで換気に必要な消費エネルギーを削減することができます。



3 ユニバーサルデザインの実現

障がいの有無や年齢、性別、言語などをこえて、誰もがわかりやすく、使いやすい計画としました。

(1) わかりやすい案内

障がいのある方にもわかりやすい音声案内や誰もが見やすく、わかりやすい（絵柄等による）案内サインを設置します。

(2) 利用しやすい駐車場

車いす用駐車場、ベビーカー利用者や高齢者の方々のための“思いやり駐車場”は、庁舎の入口近くに設置し、屋根を設けるなど安全に利用できるようにします。

(3) 誰にでもやさしい庁舎

① 各階に多目的トイレを設けます。

市民の皆さんの利用が多い西棟（1・5階）や東棟（1・2・9階）には、ベビーシート、ベビーチェア及び大人でも利用できる多目的シート、オストメイト対応設備など機能分けしたトイレを設置します。 ※オストメイト：人工肛門・人工膀胱をもつ方

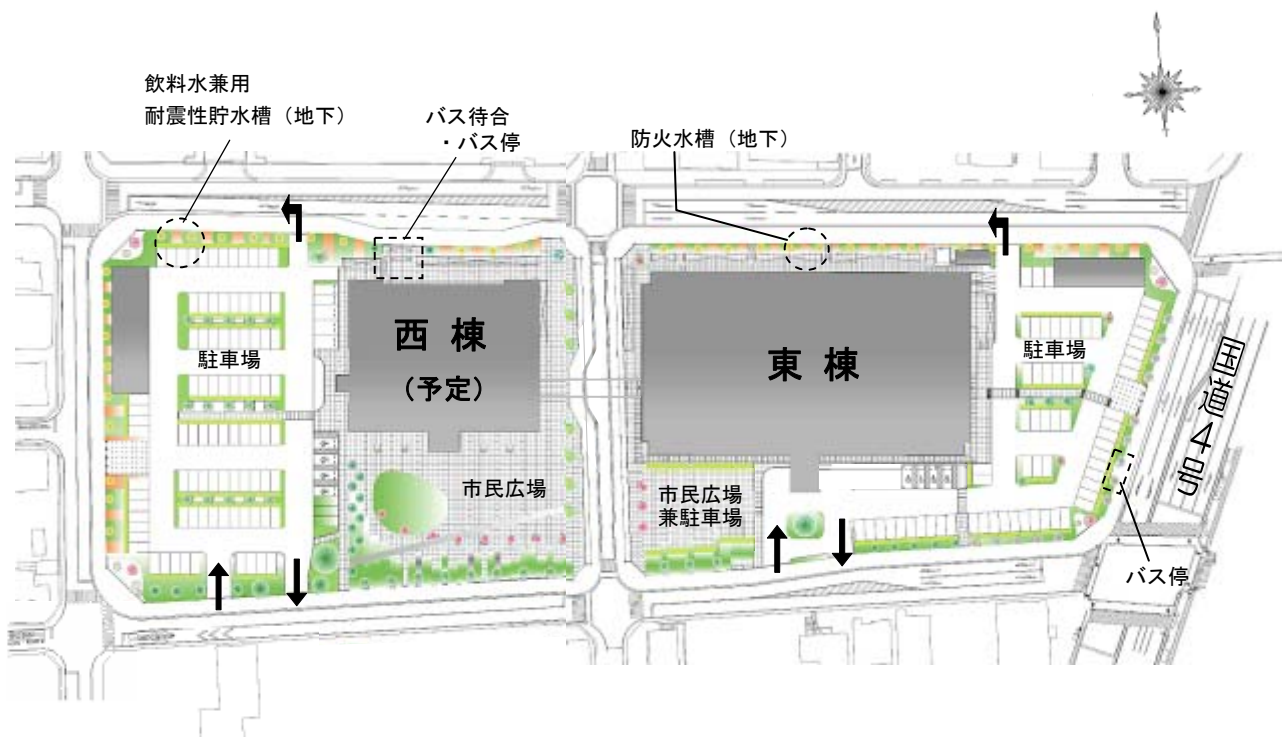
② 乳幼児を連れた方が安心して来庁できるよう、授乳室を東棟2階に配置します。

③ 窓口での手続き等の間、子どもの一時預かりに対応できる託児スペースを西棟1階に配置します。

(4) 安心して利用できる庁舎

① 障がいのある方も、安全に利用できるよう点字ブロックの設置や1・2階トイレ等に音声標識ガイド装置を設け、スムーズな案内・誘導ができるようにします。

② 多目的ホール、議会傍聴席には、聴覚障がいの方が、より聴こえやすくするための補聴援助システムを設けます。



平成22年度 営繕優良工事表彰

【表彰式の開催】

平成22年7月20日、東北地方整備局大会議室において「平成22年度営繕優良工事」の表彰式が行われました。

本表彰は、東北地方整備局の営繕関係工事に登録されている5,200社を越える企業の中から工事を受注し、営繕部保全指導・監督室並びに盛岡営繕事務所管内の工事で、施工に際し特に優れ、建設業における事業の推進に功績のあった施工会社を表彰するものです。

本年度、営繕優良工事として表彰されたのは次に挙げる工事、企業の方々です。



【保全指導・監督室管内】

工事名称: 米沢地方合同庁舎(09)建築改修外1件工事
施工会社: (株)後藤組

豪雪地域での冬期の外壁改修という困難な課題に対し、外部足場頭頂部に屋根を設けるなどの工夫により降雪、低温の影響を克服する配慮がありました。

また、作業現場の効率化と危険排除の両立など、品質面、安全面の向上に関する取り組みや、工事期間中の入居者等への負担軽減を目的として、騒音・振動が発生しない施工機器を採用するなどの細やかな配慮がありました。

入居者とは連絡調整を密に図り、短い工期の中でも十分な信頼関係を構築したうえで、全体から細部に至るまで優れた工程管理のもとに良好な品質で工事を完成させました。

【盛岡営繕事務所管内】

工事名称: 大曲法務支局(08)機械設備工事
施工会社: 羽後設備(株)

空気調和設備、給排水衛生設備等の改修工事において、建設廃棄物の抑制のため現場納入機器類の梱包材を省略するなど環境面での配慮、また、現場内に配管・継手の種類ごとの保管棚を設置し、用途表示を行うことで誤使用をなくすという品質確保に関する積極的な取り組みをしていました。

夏季における熱中症対策グッズの配備のほか、綿密かつ周到な仮設計画によって作業の効率化と安全を図りながら、関連工事の請負者とも連絡調整を密にとって無事に工事を完成させました。

工事名称: 花巻法務支局(09)電気設備工事
施工会社: 岩館電気(株)

事務室内の照明スイッチ場所に照明器具の表示プレートを設置したり、屋外駐車場の外灯ポールに車の接触事故防止のため安全ガードを設けるなど、完成後の利用者の視点で細やかな配慮、提案を行っていました。

その他、コンクリート製造物の一部を工場で作成するなど、品質確保、現場作業の省力化と併せて、現場型枠の縮減により発生材の抑制にも寄与しました。

短い工期の中で関連工事の請負者と適切に調整を図り、良好な品質をもって工事を完成させました。



【受賞者のことば】

受賞者を代表して羽後設備(株)現場代理人が「会社としても、工事を担当した個人としても非常に有意義な仕事であったうえ、この度の受賞も大変名誉なことだと感じている」と謝辞を述べ、表彰式は締めくくられました。

～ 第12回公共建築賞東北地区優秀賞決まる ～

社団法人公共建築協会が、国土交通省、全国知事会、全国市長会及び全国町村会の後援を得て実施している「公共建築賞」の第1次審査が終了し、公共建築賞優秀賞がこのほど決定しました。

優秀賞の伝達式は地区毎に行われ、東北地区では、平成22年5月26日（水）にハーネル仙台において、地域特別賞の表彰と併せて行われました。

公共建築賞は、昭和63年から1年おきに行われており、優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的としています。

数ある建築賞のなかで、公共建築を対象としていることのほかに、竣工後3年以上経過した建物を対象としているため、設計・施工のみでなく、地域社会への貢献や施設の管理保全といった視点からも、評価を行うという特徴があります。

第12回を迎えた今回は、昨年9月に募集要項が発表され、全国から128点の応募がありました。

第1次審査として、全国9地区の地区審査委員会により31点の建築物が選定され、公共建築賞審査委員会に推薦されました。

その後、5月11日に行われた公共建築賞審査委員会において審査の結果、これらの31点の建築物が優秀賞に選ばれました。

東北地区からは16点の応募があり、東北地区審査委員会（下表参照）により推薦された3点の建築物に優秀賞を授与することが決定されました。

また、積雪寒冷地における健康維持・増進に資する施設として建設された「しもきた克雪ドーム・ウエルネスパークセンターハウス」に東北地区審査委員会により地域特別賞を授与することが決定されました。

今後、公共建築賞審査委員会において、第2次審査が進められ、行政施設部門、文化施設部門及び生活施設部門の3部門ごとに最も優れた建築物各1点が選定され、公共建築賞（国土交通大臣賞）が授与されます。

また、特に優れた特徴をもつ建築物2点内外が選定され、公共建築賞・特別賞（国土交通省大臣官房官庁営繕部長表彰）が授与されます。

これらの選定結果等は10月上旬に公表される予定です。

第12回公共建築賞東北地区審査委員会委員（敬省略）

委員長	杉山 丞	東北大学特任教授
委員	磯部 正	国土交通省東北地方整備局営繕部長
(50音順)	佐々木健二	前宮城県土木部営繕課長
	松本 純一郎	日本建築家協会東北支部長・ ㈱松本純一郎設計事務所代表
	横山 英子	街角仕事人くみあい代表

《 優秀賞受賞建築物（五十音順） 》

【鶴岡アートフォーラム】

建物名称 鶴岡アートフォーラム
部 門 文化施設部門

【施設概要】

所在地：山形県鶴岡市馬場町 13-3
敷地面積：7,040.06㎡
構造階数：鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造 地上3階
建築面積：2,380.57㎡
延べ面積：4,143.42㎡
事業者：鶴岡市
設計者：(株)小沢明建築研究室
施工者：(株)佐藤工務・(株)山口工務店
・(株)鈴木工務店建設共同企業体



【福島県農業総合センター】

建物名称 福島県農業総合センター
部 門 行政施設部門

【施設概要】

所在地：福島県郡山市日和田町高倉
字下中道 116番地
敷地面積：172,000㎡
構造階数：研究棟 鉄筋コンクリート造
地上3階
交流棟 鉄筋コンクリート造
一部木造 地上1階
建築面積：研究棟 2,640.53㎡
交流棟 4,076.62㎡
延べ面積：研究棟 7,039.93㎡
交流棟 2,594.49㎡
事業者：福島県
設計者：(株)松田平田設計
施工者：研究棟 (株)オオバ工務店・佐藤工業(株)・村越建設(株)特定建設工事共同企業体
交流棟 陰山建設(株)・(株)白鳳社・(株)蔭山工務店特定建設工事共同企業体



【道の駅『上品の郷』（じょうぼんのさと）】

建物名称 道の駅
「上品の郷(じょうぼんのさと)」
部 門 文化施設部門



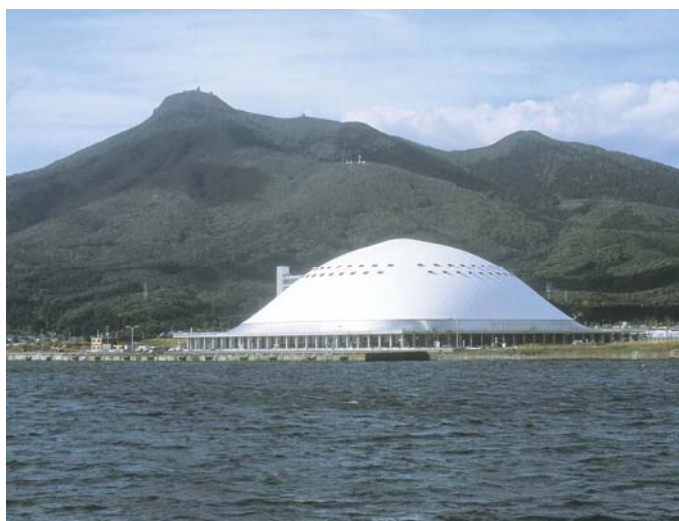
【施設概要】

所在地：宮城県石巻市小船越
字二子北下 1-1
敷地面積：15,536.09㎡
構造階数：木造(格子構造) 地上1階
建築面積：本体施設 3,843.90㎡
一般休憩施設 390.99㎡
延べ面積：本体施設 3,301.37㎡
一般休憩施設 276.48㎡
事業者：河北町(現石巻市)
設計者：(株)関・空間設計
施工者：本体施設 日本国土開発(株)
一般休憩施設 (株)丸本組

《 地域特別賞受賞建築物 》

【しもきた克雪ドーム・ウエルネスパークセンターハウス】

建物名称 しもきた克雪ドーム・ウエルネス
パークセンターハウス
部 門 生活施設部門



【施設概要】

所在地：青森県むつ市真砂町 8-8
敷地面積：50,000㎡
構造階数：ドーム棟
鉄骨造 地上1階
センターハウス棟
鉄筋コンクリート造 地上2階
建築面積：21,667.48㎡
延べ面積：19,154.05㎡
事業者：ドーム棟 青森県
センターハウス棟 むつ市
設計者：原広司+アトリエ・ファイ建築研究所
大成建設(株)一級建築士事務所
施工者：ドーム棟 大成建設(株)東北支店
センターハウス棟 むつ特定建設工事共同企業体
(株)熊谷建設工業・山内土木(株)・(株)橋本建設工業・野村建設(株)・杉山建設
工業(株) 特定建設工事共同企業体

公共建築セミナーを開催しました！！

平成22年7月15日に宮城県石巻工業高等学校の学生を、宮城県石巻市で
工事中の仙台湾務局石巻支局の現場に招き、公共建築セミナーを開催しました。
(保全指導・監督室)

■はじめに

公共建築セミナーは次世代の建設業を担う学生に建設現場に親しんでもらい、日頃の授業では経験できない実際の工事現場での体験実習を通して、日常の修学意欲の向上と、官庁営繕業務への理解を深めて貰うことを目的としています。

- ・施設名 仙台湾務局石巻支局
- ・所在地 石巻市蛇田中央土地区画
整理地業地内 55 街区 1 画地
- ・敷地面積 約 2,400m²
- ・構造 鉄筋コンクリート造 地上 3 階
- ・規模 延床面積 約 3,074m²
- ・工期 平成 22 年 3 月～平成 23 年 2 月



■セミナー開始

今回のセミナーは、建築科3年生の生徒40名を現場に招き、宮城県石巻工業高等学校長及び、保全指導・監督室長の挨拶で始まり、施設概要・工事概要の説明の後、実際の鉄筋を使用した鉄筋組立作業と、鉄筋溶接部の品質検査の現場体験実習を行いました。



宮城県石巻工業高等学校長挨拶



セミナーに参加した3年生の皆さん

■施工実習

鉄筋組立作業の実習では、現場担当者から配筋の手順、結束の方法などの説明の後、学校から持参したハッカーを使い、一人一人配筋作業を行いました。

初めは感覚がつかめませんでしたが、何度か作業するうちにうまく結束できるようになりました。



■品質管理実習

鉄筋溶接部の品質検査実習では、数本の溶接模型を利用し、圧接面の形状・寸法、軸芯や圧接面のずれなど、計測による外観検査と、超音波探傷試験器を用いた、溶接内部の検査を行いました。

計測する位置や、超音波探傷試験器の取扱いに苦労しながらも、無事に確認の作業が出来ました。



■セミナーの成果

今回のセミナーでは、普段の授業では学べない工事の話や実際の作業にふれていただきました。

参加した生徒の皆さんは、生きた現場の話を真剣な眼差しで聞きながら、熱心に作業に取り組んでいました。

現場の施工の難しさや品質管理の重要性、そしてなにより建築を創る楽しさを感じていただいたと思います。

■終わりに（セミナーの今後の予定）

セミナーはこの後、8月末に同校の2年生、10月に1年生を対象に開催する予定です。

また、3年生の皆さんには卒業前（1月頃）にセミナーの開催を予定しており、建築の企画・設計から工事発注・工事監理など建物が完成するまでの流れについて、工事施設の設計説明や、完成間近の現場見学ほか実務を踏まえた企画を検討しています。

営繕とうほく編集室

〒980-8602 仙台市青葉区二日町9-15

東北地方整備局営繕部計画課内

TEL (022)225-2171 E-mail: eikei@thr.mlit.go.jp

ホームページアドレス

■東北地方整備局 <http://www.thr.mlit.go.jp/>

■盛岡営繕事務所 <http://www.thr.mlit.go.jp/moriei>

「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます